

調査対象物質	分析法フローチャート	備考
<p>[3] 環状ポリジメチルシロキサン類</p>	<p>【水質】</p> <p>【生物】</p> <p>(注1) オクタメチルシクロテトラシロキサン-¹³C₈、デカメチルシクロヘンタシロキサン-¹³C₁₀及びドデカメチルシクロヘキサシロキサン-¹³C₁₂を、水質試料は各20ng、生物試料は各200ng添加</p> <p>(注2) ガス洗浄瓶内の試料は、曝気中、50℃に加温し、超音波を照射する。</p> <p>(注3) 試料に曝気する大気は、流速が1.0L/分で、曝気前にスレンジヒニルベンゼン樹脂及び固相カートリッジ (Sep-Pac AC-2 Plus Sort) を通過させ大気中の環状ポリジメチルシロキサン類を除去する。</p> <p>「平成30年度化学物質分析法開発調査報告書」から一部変更</p>	<p>分析原理：GC/MS-SIM-EI</p> <p>検出下限値： 【水質】 (ng/L) [2-1] 2.7 [2-2] 2.3 [2-3] 4.3 【生物】 (ng/g-wet) [2-1] 0.79 [2-2] 1.3 [2-3] 0.78</p> <p>分析条件： 機器 【水質】 GC：Agilent 7890B MS：Agilent 7000C 【生物】 GC：Agilent 7890A MS：Agilent 5975C カラム J&W DB-5ms 30m×0.25mm、0.25μm (無極性、1m×0.32mmのプレカラムを接続)</p>